

③ 令和元年度における教員の活動

[機構長]

職位	氏名	専門分野	本務所属
機構長	栗原 和美	電力工学・電気機器工学	全学教育機構・特任教授/副学長

[評議員・副機構長]

職名	氏名	専門分野	本務所属
評議員	小林 邦彦	外国語教育、応用言語学、異文化コミュニケーション	全学教育機構 共通教育部門・教授
総合教育企画部門長	下村 勝孝	解析学基礎	理工学研究科（理学野） 数学・情報数理領域・教授
共通教育部門長	篠嶋 妥	金属物性	理工学研究科（工学野） 物質科学工学領域・教授
学生支援部門長	西川 陽子	食品科学, 科学教育, 食生活学	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室・教授/学長特別補佐
国際教育部門長	佐藤 達雄	園芸学・造園学, 植物栄養学・土壌学, 植物保護科学, 作物生産科学	農学部 附属国際フィールド農学センター・教授/学長特別補佐
学務部長	向後 光典	事務統括	事務局学務部

○ 総合教育企画部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	鳶田 敏行	教育学, 環境動態解析	56

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	宮崎 章夫	各学部との連絡調整、学部内での教育改善施策の立案や実施	人文社会科学部 人間文化学科
教授	吉野 聡		教育学部 学校教育教員養成課程
教授	大友 征宇		理工学研究科（理学野） 化学領域
教授	横木 裕宗		理工学研究科（工学野） 都市システム工学領域
准教授	牧山 正男		農学部 地域総合農学科

○ 共通教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	小林 邦彦	外国語教育、応用言語学、異文化コミュニケーション	59
教授	福田 浩子	外国語教育、応用言語学、異文化コミュニケーション	61
教授	金 光男	地域研究、東アジア国際関係史	63
教授	木村 競	哲学・倫理学	—
准教授	Frederick Allan Shannon	応用言語学	65
准教授	小西 康文	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	67
准教授	菊池 武	外国語教育	69
准教授	SCHMIDT-Fajlik Ronald	言語教育、異文化コミュニケーション	71
准教授	清水 恵美子	文学一般(比較文学比較文化)、美術史、日本史(近現代史)	73
准教授	佐藤 伸也	ソフトウェア, 計算機システム, 情報学基礎理論	76
准教授	上田 敦子	外国語教育	78
准教授	山崎 大	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理, 天文学	80
講師	大森 真	英語教育	82
講師	佐々木 友美	外国語教育	—
講師	鈴木 聡子	外国語教育	84
講師	館 深雪	言語教育、英語教育、TESL	86
講師	大津 理香	英語教育学、言語習得	88
助教	大山 廉	外国語教育	89

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
准教授	神田 大吾	多文化理解部会；初修外国語	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	三輪 徳子	多文化理解部会；異文化コミュニケーション	人文社会科学部 現代社会学科
教授	伊藤 聡	多文化理解部会；ヒューマニティーズ	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	陶山 二郎	社会と生活部会；社会	人文社会科学部 法律経済学科
教授	岡崎 正男	グローバル英語プログラム部会	人文社会科学部 人間文化学科
講師	篠田 明音	心と体の健康部会；身体	教育学部学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教室
教授	谷川 佳幸	多文化理解部会；パフォーマンス&アート	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室
准教授	大塚 富美子	自然・環境・科学部会；自然	理工学研究科（理学野） 数学・ 情報数理領域

講師	横田 仁志	自然・環境・科学部会；科学	理工学研究科（工学野） 物質科学工学領域
教授	上妻 由章	自然・環境・科学部会；自然	農学部 食生命科学科
准教授	坂上 伸生	AIMS プログラム部会	農学部 食生命科学科
教授	安江 健	地域協創人材教育プログラム部会	社会連携センター/農学部 食生命科学科

○ 学生支援部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	小磯 重隆	教育社会学（キャリア教育），社会法学（労働法），社会学（職業能力開発）	90
講師	矢嶋 敬紘	社会福祉学，臨床心理学	93

○ 国際教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	安 龍洙	日本語教育	95
教授	八若 壽美子	日本語教育	97
教授	池田 庸子	日本語教育	99
准教授	瀬尾 匡輝	日本語教育，外国語教育，教育社会学	101
講師	青木 香代子	教育学（多文化教育、異文化間教育、国際理解教育）	106
助教	塚田 純	政治コミュニケーション、ジャーナリズム、メディア論	—

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	村上 雄太郎	各学部との連絡調整、学部内での国際教育施策の立案や実施	理工学研究科（工学野） 数理・応用科学領域
教授	湊 淳		理工学研究科（工学野） 数理・応用科学領域
准教授	坂上 伸生		農学部 食生命科学科

③ 令和元年度における教員の活動

総合教育企画部門	氏名 鳥田 敏行
----------	----------

職名	准教授
学位	修士(理学)[金沢大学]
学歴	金沢大学 自然科学研究科 地球環境科学専攻 博士後期課程[2003年3月単位取得満期退学] 金沢大学 自然科学研究科 生命・地球学専攻 博士前期課程[1999年3月修了] 金沢大学 理学部 地学科[1997年3月卒業]
職歴	茨城大学 IT基盤センター 教育IT化推進部門(兼務)(2018年5月～) 茨城大学 全学教育機構 総合教育企画部門 准教授(2016年8月～) 茨城大学 大学戦略・IR室 准教授(2015年4月～2016年7月) 茨城大学 大学戦略・IR室 助教(2014年10月～2015年3月) 茨城大学 助教評価室(2007年4月～2014年9月) 茨城大学 IT基盤センター ITシステム運用部門(兼務)(2005年7月～2018年4月) 茨城大学 助手評価室(2005年3月～2007年3月) 茨城大学 学術企画部 企画課 大学改革係(2004年4月～2005年2月) 茨城大学 水戸事業場衛生管理者(2004年4月～) 茨城大学 総務部 総務課 大学改革推進室 大学改革推進係(2003年4月～2004年3月) 防災科学技術研究所非常勤職員(文部科学省研究開発局防災科学技術推進室勤務)(2002年7月～2002年8月)
所属学会	日本地形学連合 大学評価コンソーシアム 日本高等教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	IT基盤センター 兼務
専門分野	環境動態解析 教育学
教育研究概要	大学運営支援のための情報収集、分析、活用的高度化を図るための機能(IR)を活用した継続的な教育改善の仕組み(内部質保証システム)構築の実践的研究を進めている。 (キーワード)大学評価 教学マネジメント

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [その他・共編者]大学評価コンソーシアム情報誌編集委員会「情報誌「大学評価とIR」第10号」, 大学評価コンソーシアム, 45. (2019年05月)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・単独・招待有] 鳥田 敏行「第1講:IRの現状と課題—何ができるのか・したいのか— 第2講:アセスメントの設計と運用—質保証の実践を支援する— 第3講:データ提供とBIツール</p>
--

- の活用－視覚的な情報共有の技法と活かし方－」[IR 担当教職員セミナー・中級編・名古屋大学高等教育研究センター・名古屋市](2019年10月)
2. [口頭発表(招待・特別)・単独・招待有] 畠田 敏行「湖沼堆積物からみる歴史時代の気候変動」[市民講演会「森林と湖沼に記録された過去の気候変動データを読み解く」・金沢大学環日本海域環境研究センター・金沢市](2019年10月)
3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・単独・招待有] 畠田 敏行「エンロールメント・マネジメントをどのように捉え、どのように進めるか」[東北大学 教育関係共同利用拠点提供プログラム 教育マネジメント M-03・東北大学大学教育支援センター・仙台市](2019年9月)
4. [口頭発表(基調)・単独・招待有] 畠田 敏行「教育改善情報のロジスティクスを考える－大学教育の組織力を高めるための IR 機能とその実践－」[SPOD フォーラム 2019 シンポジウム「大学教育の組織力を高める」・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク・松山市](2019年8月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. 科学研究費補助金[分担] 基盤研究(C)R1～R3 年度「大学教育後援会の事業と成果を指標として実施する大学評価の可能性をめぐる実証的研究」(課題番号:19K02855、代表者: 大川一毅)
2. 科学研究費補助金[分担] 基盤研究(C)H30～R2 年度「大学の数量的な「共通知」から分析マインドを涵養する人材育成プラットフォームの開発」(課題番号:18K02706、代表者: 大野賢一)
3. 科学研究費補助金[分担] 基盤研究(C)H30～R2 年度「研究課題教学マネジメントを支援する大学の専門的職員のあり方に関する研究」(課題番号:18K02729、研究代表者: 小湊卓夫)

○ 学術貢献活動

1. 「AP 事業成果に基づく合同公開 FD 研修会 「教育の質保証のための実践事例セミナー」, 茨城大学・東日本国際大学[企画立案・運営等](東京 CIC)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学外委員等

1. 「大学評価コンソーシアム」副代表幹事(庶務担当)
2. 「(独)大学改革支援・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会内部質保証専門部会」専門委員

○ 学外教育

愛媛大学、東北大学、名古屋大学主催の IR 担当者向け研修の講師を担当

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 教務情報ポータルシステム専門委員会[副委員長]
2. 情報委員会
3. 情報環境整備専門委員会
4. 図書館本館図書委員会
5. 図書館運営委員会

6. 年俸制適用教員業績評価専門部会委員

7. 水戸事業場安全衛生委員会

8. 教育改革推進委員会[事務局]

○ 機構の業務等

1. 平成 28 年度大学教育再生加速プログラム(テーマ5:卒業時の質保証)関連業務

2. 点検評価委員会

3. 学術委員会

共通教育部門	氏名 小林 邦彦
--------	----------

職名	教授
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学歴	茨城大学大学院 教育学研究科教科教育専攻 英語教育専修[1994年3月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 教授(2019年4月～) 茨城大学 全学教育機構 准教授(2016年4月～2019年3月) 茨城大学 人文学部 准教授(2004年4月～2016年3月) 国立茨城工業高等専門学校 人文科学科 助教授(1998年4月～2004年3月)
所属学会	全国語学教育学会 全国英語教育学会 大学英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	外国語教育
教育研究概要	異文化間コミュニケーション理論を外国語教育の入門期から体系的に導入するための「異文化間コミュニケーション・シラバス」の設計及び教授法の研究。心理言語学的プロセスを価値哲学、論理学、様相論理学、発話行為理論から解明する。 (キーワード)価値哲学、様相論理学、発話行為理論、動機付け理論、タスク理論、学習ストラテジー、認知学習理論、異文化間コミュニケーション・シラバス設計

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English I A【前期】, Integrated English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English I B【後期】, Integrated English II B【後期】, TOEIC & TOEFL【3Q】, TOEIC & TOEFL【4Q】
------	--

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]菊池武・小西康文・小林邦彦・福田浩子・上田敦子・大森真・館深雪・大津理香・鈴木聡子「2018年度 TOEIC テストと授業アンケートの関係」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究(茨城大学全学教育機構), 3, 127-138. (2020年03月)</p>

令和元年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 教育研究評議会</p>

2. 茨城大学組織評価委員会 組織評価実務担当者連絡会

3. 年俸制適用教員業績評価専門部会委員

4. 学長候補適任者意向聴取委員会

5. 評議員・大学教育領域長

6. 点検評価委員会

7. 人事委員会 委員長

○ 機構の業務等

1. 学長候補適任者聴取委員会委員

2. Practical English Advanced English I コースコーディネーター

3. 入試関係業務主任

4. 全学教育機構 点検評価委員会 委員

5. PE 部会長 補佐

6. 共通教育部門 部門長補佐

7. 全学教育機構 人事委員会 委員長

8. 年俸制教員業績評価専門部会

9. 組織評価実務担当者連絡会

10. 教員業績評価制度の検討に係るWG

11. 評議員

12. GEP 専門部会 部会長

共通教育部門	氏名 福田 浩子
--------	----------

職名	教授
学位	修士(国際コミュニケーション)[青山学院大学]
学歴	青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科 国際ビジネス専攻(国際コミュニケーション) 修士課程 [1996年修了] 慶應義塾大学 文学部[1978年卒業]
職歴	茨城大学全学教育機構(2017年4月～) 茨城大学人文学部(2013年10月～) 慶應義塾大学外国語教育センター(2007年10月～2011年3月) 茨城大学人文学部(2007年4月～2013年9月) 茨城大学人文学部(2002年4月～2007年3月) 武蔵野女子大学人間関係学部(2000年4月～2001年3月) 獨協大学外国語学部(1999年4月～2002年3月) 獨協大学オープン・カレッジ(1999年4月～2002年3月) 青山学院大学国際政治経済学部(1998年4月～2004年3月) 日本能率協会マネジメントセンター人事アセスメント研究所(1995年4月～2002年3月) 湘北短期大学(1990年4月～1999年3月)
所属学会	日本国際理解教育学会 日本言語政策学会 外国語教育学会 大学英語教育学会 異文化間教育学会 Association for Language Awareness 異文化コミュニケーション学会
受賞歴	平成14年度後学期茨城大学推奨授業表彰「英語ⅡTR」(2003年07月)
学内兼務	
専門分野	外国語教育 応用言語学 異文化コミュニケーション
教育研究概要	茨城大学総合英語プログラムの企画、開発を担当したことから、CEFRを参照した日本における英語教育のカリキュラム開発、特に到達目標の策定、Can-do statementsの開発、自律的学習のあり方などを研究してきた。また、Hawkinsらのイギリスの「言語への気づき」(Language Awareness)を踏まえた、日本の言語教育(母語・外国語教育)における言語への気づきをテーマとし、小学校の英語・国語教育・国際理解教育をつなぐものとしての言語意識教育、多言語多文化共生時代の言語教育について研究している。現在は、これを発展させ、多言語・多文化に開かれた言語教育のあり方、複言語・複文化主義に基づく言語教育について、主にスイスの先進的な取り組みを調査し、その理論と実践について研究している。 (研究経歴) 1995- 言語意識・言語への気づき(Language Awareness)の研究 2001～ 大学における教養英語教育 2001～ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠と日本における外国語教育

③ 令和元年度における教員の活動

	<p>2007～2009 言語意識教育：小学校からの英語・国語教育への提言(科研)</p> <p>2007～2009 英語教育におけるプログラム・デザインのモデル化：ヨーロッパ共通参照枠の応用(科研)</p> <p>2010～2011 グローカル時代の外国語教育－理念と現実／政策と教授法－(科研)</p> <p>2011～2013 多言語・多文化に開かれたリテラシー教育についての研究：日本の言語教育への提言(科研)</p> <p>2014～2017 多言語・多文化に開かれたリテラシー教育についての研究：初等教育と教員養成を中心に(科研)</p>
	<p>(キーワード)言語への気づき、言語意識教育、ELBE、EOLE、自律的学習、ヨーロッパ言語共通参照枠、ELP(European Language Portfolio)、複言語主義、複文化主義、大学教養英語教育、小学校の外国語活動、カリキュラム開発、CLIL、translanguaging</p>

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English I A【前期】, Integrated English I B【後期】, Advanced English I B【後期】, Integrated English I B【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	[その他特記]Integrated English I コース・コーディネータ(2018年4月～)

令和元年度における研究活動

<p>○ 学術貢献活動</p> <p>1. 「Journal CAJLE」, [審査・評価,査読]</p>

令和元年度における大学運営・機構運營業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 全学教育機構学生支援部門 障害学生修学支援員</p>
<p>○ 機構の業務等</p> <p>1. プラクティカル・イングリッシュ専門部会 FD 担当チーフ</p> <p>2. プラクティカル・イングリッシュ専門部会 学修支援・学修相談担当</p> <p>3. プラクティカル・イングリッシュ専門部会 IE I コース・コーディネータ</p> <p>4. プラクティカル・イングリッシュ専門部会 委員</p> <p>5. 科研申請助言者</p>

共通教育部門	氏名 金光男
--------	--------

職名	教授
学位	政治学修士[早稲田大学]
学歴	上智大学 外国語学研究科 国際関係論専攻 博士課程[1992年3月単位取得満期退学] 早稲田大学 政治学研究科 政治学 修士課程[1987年修了] 早稲田大学 社会科学部 社会科学科[1980年卒業]
職歴	早稲田大学アジア研究機構・客員研究員(2008年4月～2010年3月) オーストラリア、ニュー・サウス・ウェールズ大学人文社会科学部客員研究員(2000年4月～2001年3月) 東京外国語大学外国語学部東南アジア課程非常勤講師(1997年4月～1999年3月) 茨城大学人文学部助教授(1994年4月～) 国立インドネシア大学政治社会学部国際関係学科客員講師(1993年2月～1994年2月) 早稲田大学社会科学研究所インドネシア部会研究協力者(1988年4月～1992年3月)
所属学会	韓日民族問題学会 アジア・ヨーロッパ未来学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	地域研究 東アジア国際関係史
教育研究概要	研究については、1859年開港から二次大戦終結までの日本近代化の歴史を石炭開発の中核の一つである労働形態を明確にする研究に取り組んでいる。その前半部は主として九州、北海道を事例とし、後半部は台湾、朝鮮、旧「満州」、中国大陸、スマトラにおける炭鉱開発と労働形態を明らかにしたい。 授業は、基盤教育科目の「グローバルスタディーズ」に区分される授業を担当している。人文社会科学部での授業、アジア社会論、アジア社会論演習および人文社会科学研究科での課題研究演習、アジア社会論研究、地域研究・社会学基盤演習を担当した。 (キーワード)石炭産業、近代化、アジア、インドネシア、朝鮮・韓国、日本、国際関係、地域研究

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)グローバル・スタディーズ【1Q】日本近代化とアジア, グローバル・スタディーズ【2Q】日本石炭産業とアジア, グローバル・スタディーズ【3Q】アジア学入門, グローバル・スタディーズ【4Q】東アジア概説 (専門科目)専門ゼミナールC(アジア社会論), 専門ゼミナールA(アジア社会論), 専門ゼミナールD(アジア社会論), 卒業研究 (大学院科目)アジア社会論研究Ⅱ, 課題研究演習Ⅰ, 地域研究・社会学基盤演習, 課題研究演習Ⅱ
------	---

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]金 光男「三池炭鉱における囚人労働に関する一考察」, 茨城大学全学教育機構論集(茨城大学全学教育機構), 3, 17-36. (2020年03月)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 社会貢献活動

1. 「みと好文カレッジ運営審議会委員」, 水戸市教育委員会

○ 学外委員等

1. 「アジア・ヨーロッパ未来学会」学会誌『ユーラシア研究』政治・外交分科編集委員

○ 学外教育

- 放送大学 2019年度第1学期面接授業「アジア社会論」

令和元年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会業務

1. 学長候補適任者意向聴取委員会
2. 人事委員会

○ 機構の業務等

- 「社会と生活部会」部会長

共通教育部門	氏名 Frederick Allan Shannon
--------	----------------------------

職名	准教授
学位	博士[クイーンズランド大学] 修士[サザン・クイーンズランド大学] 学部[サイモンフレーザー大学] ケンブリッジ大学 英語教授法資格[ケンブリッジ大学]
学歴	クイーンズランド大学 教育学部 教育 博士課程[2008年1月修了] サザン・クイーンズランド大学 教育学部 言語学 修士課程[2004年7月修了] サイモンフレーザー大学 犯罪学部 犯罪学部[1996年7月卒業]
職歴	九州大学(2010年10月～2012年3月)
所属学会	
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	応用言語学
教育研究概要	<p>(研究経歴) 私はこれまで数年間日本の大学レベルで外国語としての英語(EFL)を教えてまいりました。私の授業を通して学生たちが新しい言葉を学んだり、これまで知らなかったことを理解したりしてくれることに非常に喜びとやりがいを感じております。私は教員としてのキャリアの早期から、TESOLの学術分野と応用言語学について学び、教えることに魅力を感じてきました。また、学生たちの語学力を伸ばすために彼らをサポートできることに喜びを感じております。よりよい英語教師となることができるように、私はTESOL/応用言語学、教育学の分野で学位を取得しました。私は博士課程で英語専攻以外の学生を対象としたリスニング能力に重点を置いた語学教育について研究を行いました。応用言語学修士課程ではEFL学習者による言語習得方略の使用について研究しました。また、ケンブリッジのCELTA(Certificate of English Language Teaching to Adults)も取得しております。私は自分のキャリアを開発する決意をして、語学教育に関するスキルと知識の向上に努めてまいりました。日本で教える外国人教師の中でも英語教育の博士号を保持している人は非常に限られており、TESOL分野における私の学術的背景によって、大学の課程に積極的な貢献ができると信じております。さらに、私は大学レベルでの豊富な指導経験があります。学部および大学院の英語専攻と非英語専攻の学生たちに対して英語関連の指導を行ってまいりました。これまでに教えたことのあるコースとしては、(1) プレゼンテーションスキル、(2) アカデミックライティング、(3) TOEIC、(4) TEOFL、(5) リスニングスキル、(6) ショートフィクション(詩および短編小説)、(7) 4 スキル会話クラスなどがあります。加えて、大学のほか、短期大学、高等学校、民間の語学学校、企業(NEC、トヨタ、マイクロソフトなど)での指導経験も豊富です。また、学部教員陣容の一員として、研究および学術活動にも参加してまいりました。これまでの大学および学科では広報活動にも積極的に参加し、たとえば学生やスタッフが彼らの英語を練習し、フィードバックを得る機会である「English Corner」というミーティングを毎週開催したり、大学院生向けに「Writing Clinic」を毎週行い、ライティングの支援をしたりした経験があります。また、大学の体育祭やスピーチコンテスト、寸劇コンテストなどにも参加しました。また、通常の職員会議等にも出席し、英</p>

③ 令和元年度における教員の活動

	<p>語専攻以外の学生向けのカリキュラム開発や教材の選択なども行いました。そして、大学の入試関係業務支援も行ってきました。私は日本語で学生やスタッフとコミュニケーションをとったり、一般的な業務を行ったりすることができます。このような理由から、私は大学での英語教員の職に適していると信じております。</p>
	<p>(キーワード)ナチュラルアプローチ, クラッシュエン, SLA モデル, 情意フィルター, インタラクション仮説, インプット仮説, 生得理論, 言語習得装置, モニターモデル, ナチュラルアプローチ, 相互交流仮説, インプット仮説, 生得理論, 意味交渉, 最近接発達の領域 (ZPD)</p>

令和元年度における教育活動

<p>担当科目</p>	<p>(教養科目)Advanced English ⅢA【前期】, Integrated English ⅡA【前期】, Advanced English ⅢC【前期】, English for Socializing【1Q】, Advanced English ⅢB【後期】, Integrated English ⅡB【後期】</p> <p>(専門科目)English Seminar for Intercultural Communication I, 専門演習Ⅲ(Language Learning), 専門演習Ⅳ(Language Learning), 卒業研究</p>
-------------	--

令和元年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 入試関係業務</p>

共通教育部門	氏名 小西 康文
--------	----------

職名	准教授
学位	博士(物理学)[京都産業大学]
学歴	京都産業大学 理学研究科 物理学専攻 博士後期課程[2010年3月修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 准教授(2018年2月～) 茨城大学 大学教育センター 准教授(2015年2月～2018年1月) 埼玉大学大学院 理工学研究科 研究支援者(2011年4月～2015年1月) 京都産業大学 益川塾 自然科学系研究員(2010年4月～2011年3月)
所属学会	日本物理学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	大学初年次の物理や数学、データサイエンス関係の教育をおこなっている。また、素粒子物理学における標準理論を超えた物理として、フレーバー領域を中心に研究をおこなっている。 (キーワード) 素粒子、現象論、標準理論を超えた物理

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)力と運動【前期】、微積分学【前期】、微積分学入門【1Q】、微積分学基礎【2Q】、物質と生命【3Q】素粒子物理学における現象論Ⅰ、技術と社会【3Q】AI・データサイエンス入門、物質と生命【4Q】素粒子物理学における現象論Ⅱ、技術と社会【4Q】AI・データサイエンス入門
学生支援・国際交流	科学の基礎質問室相談員
支援・特記事項	iOP チュートリアル(2019年10月～2019年11月)

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等	<ol style="list-style-type: none"> 1. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]「2018年度 TOEIC スコアと授業アンケートの関係」, 茨城大学全学教育機構論集, . (2020年03月) 2. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]小西 康文「小学校・中学校理科の学習内容に関する分析」, 東京懇談会 研究紀要, 2, 16-109,111. (2019年11月)
----------	---

令和元年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会業務

1. 点検評価委員会

○ 機構の業務等

1. 教育改革推進委員会において主催するFDでの成果報告
2. 2019年度研究推進経費「Research Booster」の審査委員
3. プラクティカル・イングリッシュのクラス分け補助 名簿および一覧表の作成
4. 微積分学の統一授業の運営等 取りまとめ
5. 自然・環境・科学部会のFDの準備と実施 日程調整、司会進行など
6. TOEIC一斉テストに関する業務 集計および解析

共通教育部門	氏名 菊池 武
--------	---------

職名	准教授
学位	英語教授法修士[コロンビア大学大学院ティーチャーズカレッジ]
学歴	コロンビア大学 ティーチャーズカレッジ 英語教授法修士課程 修士課程[2003年2月卒業] 立教大学 文学部 英米文学科[1984年3月卒業]
職歴	いわき明星大学 人文学部(2011年4月～2015年3月) 教養学部(2015年4月～2018年3月) 准教授(2011年4月～2018年3月) 獨協大学 外国語学部英語学科(2007年4月～2008年3月) 法学部総合政策学科(2008年4月～2011年3月) 特任講師(2007年4月～2011年3月) 獨協大学(2006年4月～2007年3月) いわき明星大学(2003年10月～2011年3月) 茨城大学(2003年4月～2011年3月) 茨城県教育委員会(1984年4月～2003年3月)
所属学会	大学英語教育学会 全国語学教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)英語教育、第二言語習得研究、発音指導

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】
------	---

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【筆頭著者】]菊池 武、小西 康文、小林 邦彦、上田 敦子、大森 真、館 深雪、大山 簾、大津 理香、鈴木 聡子「2018年度 TOEIC テストと授業アンケートの関係」, 茨城大学 全学教育機構論集 大学教育研究, 3, 127-137. (2020年03月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「大学入学前の英語の発音指導の変化」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 3, 109-125. (2020年03月)</p>
--

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 入試関係業務
2. 学術委員会

○ 機構の業務等

1. プラクティカル・イングリッシュ部 部会長
2. 全学教育機構 学術委員会 委員

共通教育部門	氏名 SCHMIDT=FAJLIK Ronald
--------	--------------------------

職名	准教授
学位	D.Ed.[University of South Africa] M.Ed.[University of Manchester] B.Ed.[University of Toronto] B.F.A.[York University (Toronto)]
学歴	University of South Africa Didactics 博士課程[2014年10月] University of Manchester English Language Teaching Master of Education in English Language Teaching (M.Ed. ELT). 修士課程[2000年修了] University of Toronto 教育学部[1993年卒業] York University 芸術工学部[1991年卒業] Humber College Audio-Visual Production, Television[1986年卒業]
職歴	
所属学会	
受賞歴	Best Presentation of Chiba JALT 2003(2004年)
学内兼務	
専門分野	
教育研究概要	(研究経歴) I am currently conducting research in the following areas: Nonverbal communication. Interpersonal competence. Combining second language education with visual art. Intercultural communication Interpersonal competence Multiple intelligences theory in second language education. Space in visual art. Nonverbal communication. Interpersonal competence. (キーワード) 異文化コミュニケーション 個人教育 視覚文化 コンピュータ支援型言語学習 英語教育

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Advanced English ⅢC【前期】, Integrated English ⅢA【前期】, Advanced English ⅢC【前期】, Integrated English ⅢB【後期】, Academic Writing【3Q】 (専門科目)英語圏の文化と社会 I / 英語圏の文化と社会, 専門演習Ⅲ(Language Learning), English Seminar for Intercultural Communication Ⅱ, 専門演習Ⅱ(Language Learning), 専門演習Ⅳ(Language Learning), 卒業研究
------	--

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. [単行本(学術書)・単著]Ronald Schmidt-Fajlik“Interpersonal Competence in English Language Teaching”, . (2020年03月)
----------	--

③ 令和元年度における教員の活動

2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著] Ronald Schmidt-Fajlik "Extensive Reading Anxiety of Japanese University Students", 3, 57-67. (2020年03月)

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 入試関係業務

共通教育部門	氏名 清水 恵美子
--------	-----------

職名	准教授
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学] 修士(学術)[茨城大学]
学歴	お茶の水女子大学 人間文化研究科 国際日本学専攻 博士後期課程[2008年修了] 茨城大学 人文科学研究科 文化構造専攻 修士課程[2003年修了]
職歴	茨城大学 全学教育機構 准教授(2018年4月～) 茨城大学 五浦美術文化研究所 所員(2015年11月～) 茨城大学 社会連携センター 准教授(2015年2月～2018年3月) お茶の水女子大学 生活科学部 学部教育研究協力員(2013年～2015年) お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション 特任リサーチフェロー(2011年～2012年) 国土館大学 文学部 非常勤講師(2010年～2015年) 芝浦工業大学 工学部 非常勤講師(2010年～2015年) お茶の水女子大学 生活科学部 非常勤講師(2010年～2015年) お茶の水女子大学 比較日本学教育研究センター 客員研究員(2009年～) お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科研究院 研究員(2008年～2011年) 茨城大学 人文学部・大学共通センター 非常勤講師(2006年～2015年)
所属学会	日本フェノロサ学会 文化資源学会 日本比較文学会 明治維新史学会 明治美術学会
受賞歴	いばらきデザインセレクション 2017 知事選定「五浦コーヒーを媒介とした岡倉天心・五浦発信」(2017年11月) 文化庁 平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)(2013年)
学内兼務	五浦美術文化研究所 運営委員茨城大学 茨城 COC プラス教育プログラム開発委員会 委員
専門分野	美術史 文学一般(比較文学比較文化) 日本史(近現代史)
教育研究概要	岡倉天心に関する研究 日本美術院、岡倉由三郎、柳宗悦、飯村丈三郎、新納忠之助に関する研究 日米印の美術交流に関する研究 地域志向教育に関する研究 岡倉天心の思想と生涯の活動について、晩年の五浦・ボストン往復時代を中心に、美術史、芸術思想史、比較文学比較文化、文化交流史、近代日本史など多角的な領域から研究 「茨城学」「5学部混合地域 PBL I」「5学部混合地域 PBL II」を担当 (キーワード)岡倉天心(覚三) 近代美術史 比較文学比較文化 文化交流史 芸術思想史 地域志向教育 アクティブ・ラーニング PBL

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)茨城学【3Q 部分】
------	------------------

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]清水恵美子「赤倉山荘「亜細亜ハーナリ」をめぐる謎」, 江戸千家便覧 ひととき草(江戸千家連合不白会), 135, 32-33. (2020年01月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]清水恵美子「20世紀初頭の美術交流における新納忠之介の活動—ポストン美術館関係者との交流を中心に—」, 五浦論叢: 茨城大学五浦美術文化研究所紀要(茨城大学五浦美術文化研究所), 26, 63-80. (2019年11月)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)・単独・招待有]「「岡倉天心と五浦の六角堂」」[茨城大学連携講演会・阿見町生涯学習課・阿見町立中央公民館](2019年6月)
2. [口頭発表(一般)・単独・招待有] 清水恵美子「「20世紀初頭の美術交流における新納忠之介の活動」」[日本比較文学会東京支部例会・日本比較文学会東京支部・二松学舎大学](2019年4月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. 科学研究費補助金(基盤研究(C))「「世紀転換期から戦後の美術交流における新納忠之介の文化財保護活動に関する研究」」(研究代表者)日本学術振興会日本学術振興会日本学術振興会(2018年度～2020年度)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 社会貢献活動

- 1[講演会:講師].「茨城大学連携講演会「岡倉天心と五浦の六角堂」」, 阿見町生涯学習課(社会人・一般)
- 2[対話型集会・市民会議:司会].「ひたちなか市産業活性化戦略会議 委員長」, ひたちなか商工会議所(社会人・一般, 企業, 行政機関)

○ 学外委員等

1. 「ひたちなか市産業活性化戦略会議」委員長

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. COC 統括委員会委員
2. 茨城大学地元就職推進委員会
3. 茨城大学五浦美術文化研究所運営委員会
4. 茨城大学五浦美術文化研究所所員

○ 機構の業務等

1. COC 統括機構(COC プラス) COC 統括委員会委員、教育プログラム開発委員会委員、COC プラス授業推進 WG
2. 全学教育機構 共通教育部会 地域志向教育プログラム部会長(2019年3月まで COC 地域志向教育プログラム部会長)初年次教育部会(2019年3月まで)
3. 五浦美術文化研究所 所員、運営委員(2018年4月～)

4. COC 統括機構(COC) COC 統括委員会委員、COC 地域志向教育プログラム委員会委員長(2017年4月～2019年3月)

③ 令和元年度における教員の活動

共通教育部門	氏名 佐藤 伸也
--------	----------

職名	准教授
学位	DOCTOR of PHILOSOPHY[サセックス大学]
学歴	サセックス大学 エンジニアリング・インフォマティクス研究科 インフォマティクス専攻 博士課程[2015年5月修了] 東京理科大学 理工学研究科 情報科学専攻 博士課程[2002年3月単位取得満期退学] 東京理科大学 理工学研究科 情報科学専攻 修士課程[1998年3月修了] 東京理科大学 理工学部 情報科学科[1996年3月卒業]
職歴	茨城大学 全学教育機構 准教授(2017年4月～) 茨城大学 大学教育センター 准教授(2015年9月～2017年3月) サセックス大学 エンジニアリング・インフォマティクス研究科、インフォマティクス専攻 准チューター(2014年2月～2014年4月) 姫路獨協大学 経済情報学部 准教授(法改正による職名変更)(2007年4月～2012年3月) 姫路獨協大学大学院 経済情報研究科 准教授(法改正による職名変更)(2007年4月～2012年3月) ロンドン大学キングスカレッジ コンピュータサイエンス学部 客員研究員(2006年9月～2007年8月) 姫路獨協大学大学院 経済情報研究科 助教授(2005年4月～2007年3月) 姫路獨協大学 経済情報学部 助教授(2004年4月～2007年3月) 姫路獨協大学 経済情報学部 専任講師(2002年4月～2004年3月)
所属学会	Association for Computing Machinery
受賞歴	なし
学内兼務	IT 基盤センター 教育 IT 化推進部門 部門長
専門分野	情報学基礎理論 計算機システム ソフトウェア
教育研究概要	(キーワード)インタラクシオンネット プログラミング言語 形式手法 項(グラフ)書き換え系

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)情報リテラシー【前期】、環境と人間【1Q】計算機科学への招待Ⅱ、技術と社会【3Q】AI・データサイエンス入門、環境と人間【4Q】計算機科学への招待、技術と社会【4Q】AI・データサイエンス入門、技術と社会【4Q】AI・データサイエンス基礎演習
------	---

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. 佐藤伸也「学びへの動機付けと意欲向上への取り組み—リベラルアーツ理工系選択科目「計算機科学への招待」を
----------	--

対象として—」[茨城大学全学教育機構論集, 大学教育研究, 茨城大学全学教育機構, pp. 139—153](2019年3月)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・共同] 卯木輝彦, 加藤利康, 佐藤伸也, 堤宇一, 児玉靖司「オープンデータを活用した学習分析研究者のためのディープラーニングセミナー:学習分析学会における取り組み」[第44回 教育システム情報学会全国大会・教育システム情報学会・静岡大学 浜松キャンパス](2019年9月)

○ 学術貢献活動

1. 卯木輝彦(株式会社フォトロン 研究開発センター長)、加藤 利康(日本工業大学 講師)、佐藤伸也、セミナー「2日で学ぶディープラーニングによる時系列データ解析入門」、学習分析学会、2019年12月21日～22日

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 教務情報ポータルシステム専門委員会
2. 情報環境整備専門委員会
3. IT基盤センター運営委員会委員
4. 予算・施設委員会

○ 機構の業務等

1. 共通教育部門初年次教育(情報)
2. 総合教育企画部門(兼務)
3. 部局技術責任者
4. AI・数理データサイエンス教育検討タスクフォース委員
5. 基盤・教養科目事前申告抽選プログラム作成
6. 英語コミュニケーショントレーニング予約サイトの作成・管理・運用
7. ALC NetAcademyNext 用サーバー管理
8. 情報リテラシー相談室の実施
9. 情報リテラシーFDの実施

共通教育部門	氏名 上田 敦子
--------	----------

職名	准教授
学位	修士(国際コミュニケーション)[青山学院大学]
学歴	青山学院大学 国際政治経済学研究科 国際コミュニケーション 修士課程[2001年修了] 青山学院大学 文学部 英米文学科[1985年卒業]
職歴	(株)公文教育研究会(1985年04月～1997年03月)
所属学会	アジア英語教育学会 全国語学教育学会
受賞歴	茨城大学推奨授業「平成15年度英語Ⅰ」(2005年03月)
学内兼務	
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)多読 multiple intelligences 多聴(シャドーイング)

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】
学生支援・国際交流 支援・特記事項	テーブルマジックサークル「アンビシャス」顧問

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 菊池 武・小西 康文・小林 邦彦・上田 敦子・大森 真・館 深雪・大山 廉・大津 理香・鈴木 聡子「2018年度 TOEIC スコアと授業アンケートの関係」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究 (2020)(茨城大学全学教育機構), 第 3, 127-137. (2020年03月)</p> <p>2. [研究論文(学術雑誌)共著] 大森 真・上田 敦子・矢嶋 敬紘・佐々木 友美・館 深雪「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み(1): パフォーマンス評価におけるルーブリックの開発・導入と学習者の意識への影響」, 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究 (茨城大学全学教育機構), 3. (2020年03月)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. [ポスター発表・共同] Sachiyo Nomura, Atsuko Ueda "Effects of Collaborative Learning on English Education: Focusing on Incidental Vocabulary Learning" [Asia TEFL 2019・Asia TEFL・Ambassador Hotel, Bangkok, Thailand] (2019年6月)</p>
--

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 社会貢献活動

1. 「公開講座 多読を楽しむ」,
2. 「放送大学英会話サークル 指導」,(社会人・一般)

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

→ 施設予算委員

○ 機構の業務等

1. PE Advanced English II コーディネータ
2. PE クラス編成委員長
3. PE 教育支援委員

共通教育部門		氏名 山崎 大
職名	准教授	
学位	博士(理学)[東京大学] 修士(理学)[東京大学]	
学歴	東京大学 理学系研究科 天文学専攻 博士課程[2007年3月修了]	
職歴	2004年4月～2006年3月 国立天文台リサーチ・アシスタント 2006年4月～2007年3月 日本学術振興会特別研究員(DC2) 2007年4月～2008年3月 日本学術振興会特別研究員(PD) 2008年4月～2009年3月 国立天文台研究支援員 2009年4月～2011年3月 Postdoctoral Fellow, Academia Sinica, Institute of Astronomy and Astrophysics (Republic of China) 2011年4月～2014年3月 国立天文台研究員 2014年4月～2015年2月 千葉工業大学学習支援センター学習支援員(専任講師相当) 2014年4月～現在に至る 国立天文台特別客員研究員 2015年2月～2017年3月 茨城大学 大学教育センター 准教授 2017年4月～現在に至る 茨城大学 全学教育機構 准教授(所属部署の名称変更)	
所属学会	Japan SKA Consortium 日本天文学会	
受賞歴	なし	
学内兼務		
専門分野	天文学 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	
教育研究概要	1.「研究」 初期宇宙の物理過程に対する原初磁場の影響を研究。特に、相対論的宇宙論と電磁流体力学に対応した、原初磁場の空間分布を数値的に計算するプログラムを開発し、統計的な手法を駆使し、宇宙背景放射と物質密度場に対する原初磁場の影響に関する研究の発展に貢献してきた。最近、観測事実をもとに理論モデルを検証する観測的宇宙論の手法により、原初磁場を考慮したビッグバン元素合成やダークマター候補となるX粒子探索等の素粒子論・原子核理論に関連する研究も行っている 2.「教育」 物理学と数学の授業について、その成績と授業出席について統計的に調査し、その結果を反映した基礎教育改善のための授業計画の立案、教材・板書ノート・教科書作成、および試験問題作成を行う。また、学習相談の専用窓口で、多くの学生の学習相談に対応しつつ、より多くの学生が気兼ねなく学習相談できる環境の改善を推進してきた。	
	(キーワード) 宇宙論 宇宙背景放射 原初磁場 大規模構造形成 ビッグバン元素合成	

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)微積分学【前期】、力学入門【1Q】、力学基礎【2Q】、力と運動【後期】、物質と生命【3Q】 宇宙論史 I、技術と社会【3Q】AI・データサイエンス入門、物質と生命【4Q】宇宙論史 II、技術と社会 【4Q】AI・データサイエンス入門
学生支援・国際 交流支援・特記 事項	[その他特記]VCS を活用したパイロット授業の実施(2019 年 12 月～2020 年 2 月) [その他特記]科学の基礎質問室(2017 年 4 月～)

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Mathews, G. J.; Kedia, A.; Sasankan, N.; Kusakabe, M.; Luo, Y.; Kajino, T.; Yamazaki, D. G.; Makki, T.; El Eid, M. "Cosmological Solutions to the Lithium Problem", JPS Conf. Proc., 31, 011033. (2020 年 03 月)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・単独] 山崎 大「宇宙論における磁場の制限」[日本 SKA サイエンス会議「宇宙磁場」2019] (2019 年 11 月)</p> <p>2. [ポスター発表・単独] 「原初磁場と有質量ニュートリノの弱重力レンズ効果に対する影響の考察」[日本天文学会 2019 年秋季年会] (2019 年 9 月)</p>
--

令和元年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 共通教育部門会議 自然・環境・科学部会 部会長</p> <p>2. 学術委員会 委員</p> <p>3. 全学教育機構 AI・数理・データサイエンス検討TF 委員</p> <p>○ 機構の業務等</p> <p>1. 平成 30 年度 後期, 平成 31 年(令和元年)度 前期 科学の基礎および自然環境と人間 FD</p> <p>2. 平成 31 年(令和元年)度 茨城大学全学教育機構論集 編集者</p> <p>3. 平成 31 年(令和元年)度 科学の基礎・自然環境と人間科目のシラバスチェック</p> <p>4. 平成 30 年度 茨城大学全学教育機構論集 編集者</p> <p>5. 茨城大学数理解析への「微分積分の基礎」編集委員会 委員</p> <p>6. 茨城大学 力学教科書編集委員会 委員長</p> <p>7. 統一授業「微積分学」運営業務</p> <p>8. 統一授業「力と運動」運営業務</p> <p>9. 微分積分の基礎テスト作成協力</p> <p>10. 力学の基礎テスト作成・採点・クラス分け</p> <p>○ その他</p> <p>1. 入試関係業務</p>

③ 令和元年度における教員の活動

共通教育部門	氏名 大森 真
--------	---------

職名	講師
学位	第二言語研究 修士[ハワイ大学 マノア校]
学歴	ハワイ大学 マノア校 第二言語研究学科 第二言語研究 修士課程[2006年12月修了] ハワイ大学 マノア校 第二言語研究学科 第二言語研究 博士課程[その他]
職歴	<p>国立大学法人 茨城大学 全学教育機構 英語専任講師(常勤)(2017年4月～)</p> <p>国立大学法人 茨城大学 大学教育センター 英語専任講師(常勤)(2014年4月～2017年3月)</p> <p>非営利団体 アジア太平洋交流センター(Center for Asia Pacific Exchange; ハワイ大学と提携し、ハワイ州政府に帰属する教育系非営利団体) 講師兼カリキュラム専門家(2011年6月～2012年8月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 第二言語研究学科 非常勤講師 [担当講座] 第二言語習得論 第二言語教授法 第二言語教授法—読解と作文 第二言語教授法—聴解と会話(2007年8月～2012年5月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 English Language Institute リスニング・スピーキングセクション主任講師(Lead Teacher)(非常勤)(2007年1月～2007年5月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 English Language Institute 非常勤講師 リスニング・スピーキングセクション(中級・上級)担当(学部生・大学院生対象)(2006年1月～2006年12月)</p>
所属学会	一般社団法人 大学英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	英語教育
教育研究概要	<p>[教育]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「TOEIC 企画運営」[運営委員長] 2. 「IE III コーディネーター」 3. 「英語学習相談」 4. 「入試採点」[教育研究プロジェクト] 共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み: パフォーマンス評価におけるルーブリック開発 自身がカリキュラム作成・運営し、且つ授業を担当している Integrated English III において、プレゼンテーションとエッセイの詳細なルーブリックの開発と学生への公表による学修への意識の変化を調査してきた。プロジェクトリーダーとして、全学教育機構学生支援部門矢嶋教員、共通教育部門上田教員、佐々木教員、館教員と共同研究を進めてきた。 <p>[研究プロジェクト]</p> <p>英会話交流授業の会話分析 「生徒達の英語に上積みするのを助ける」ことを目的とした英会話交流プログラムを会話分析の手法を用いて分析する。</p> <p>(キーワード)(応用)会話分析、 成員性カテゴリー化分析、異文化間性の構築、英語教授法、ルーブリック</p>

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English ⅢA【前期】, Advanced English ⅢA【前期】, Integrated English ⅢA【前期】, Advanced English ⅢA【前期】, Integrated English ⅢB【後期】, Advanced English ⅢB【後期】, Integrated English ⅢB【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	[その他特記]IE Ⅲ プレゼンテーションとエッセイのガイドライン並びにルーブリックの作成(2017年4月～)

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【筆頭著者】]大森真・上田敦子・矢嶋敬紘・佐々木友美・館深雪「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み(1): パフォーマンス評価におけるルーブリックの開発・導入と学習者の意識への影響」, 茨城大学全学教育機構論集「大学教育研究」第3号, . (2020年03月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「2018年度 TOEIC スコアと授業アンケートの関係」, 茨城大学全学教育機構論集「大学教育研究」第3号, . (2020年03月)</p>

令和元年度における大学運営・機構運營業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 入試関係業務</p>
--

③ 令和元年度における教員の活動

共通教育部門	氏名 鈴木 聡子
--------	----------

職名	講師
学位	博士[Temple University, Japan Campus] 修士[Temple University, Japan Campus]
学歴	Temple University, Japan Campus 教育学英語教授法博士課程[2017年5月修了]
職歴	青山学院大学非常勤講師(2017年4月～2018年3月) 文教大学非常勤講師(2017年4月～2018年3月) 日本大学非常勤講師(2017年4月～2018年3月) 文教大学非常勤講師(2009年4月～2016年3月) テンプル大学ジャパンキャンパス生涯教育プログラム非常勤講師(2009年9月～2011年4月) 青山学院大学非常勤講師(2007年4月～2016年3月)
所属学会	全国英語教育学会 外国語教育メディア学会(LET)
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) Global Englishes、発音、音読、シャドーイング、リスニング、スピーキング、タスク、自律学習

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English III A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Advanced English III B【後期】
学生支援・国際交流 支援・特記事項	英語学習相談室(2018年度)

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著] "Incidental Aural Vocabulary Acquisition Through Computer-assisted Extensive Listening", 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究, 3, 37-45. (2020年03月)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・共同] Yo Hamada & Satoko Suzuki "Shadowing as a Practice for Speech Perception" [International Symposium on the Acquisition of Second Language Speech (New Sounds) 2019] (2019年8月)
2. [口頭発表(一般)・単独] "Incidental Vocabulary Acquisition through Computer-Assisted Extensive Listening" [International Conference on Foreign Language Education & Technology (FLEAT) VII] (2019年8月)

③ 令和元年度における教員の活動

共通教育部門	氏名 館 深雪
--------	---------

職名	講師
学位	アーツ・サイエンス研究科修士課程心理教育学専攻言語教育修士[国際基督教大学] 教育学研究科修士課程心理教育学修士[ボブ・ジョーンズ大学大学院] 教育学部英語教育学科学士[ボブ・ジョーンズ大学]
学歴	国際基督教大学 アーツ・サイエンス研究科修士課程 心理教育学専攻言語教育 修士課程[2015年3月修了] ボブ・ジョーンズ大学大学院 カウンセリング科 修士課程[2000年5月修了] ボブ・ジョーンズ大学 教育学部 英語教育学科[1998年5月卒業]
職歴	茨城大学 全学教育機構(2015年2月～) 株式会社ゼウス・エンタープライズ バイリンガル・コーディネーター課 課長(2008年9月～2013年3月) Calvary Christian Academy(北マリアナ諸島サイパン島)(2000年8月～2007年7月)
所属学会	
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	言語教育、英語教育、TESL
教育研究概要	コミュニケティブ コンペテンスに対するコミュニケーション意欲の影響を調査し、大学英語教育及び企業英語使用現場にて取り入れるための方法における研究 (キーワード)コミュニケティブ コンペテンス、コミュニケーション意欲、企業英語

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]大森 真、上田 敦子、矢嶋 敬紘、佐々木 友美、館 深雪「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み(1):パフォーマンス評価におけるルーブリックの開発・導入と学習者の意識への影響」, 茨城大学全学教育機構論集, . (2020年03月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]菊池 武、小西 康文、福田 浩子、小林 邦彦、上田 敦子、館 深雪、大森 真、大山 廉、大津 理香、鈴木 聡子「TOEICの得点分析から得られる英語プログラムへの教育的示唆」, 茨城大学全学教育機構論集(茨城大学全学教育機構), . (2020年03月)</p>
--

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

<p>○ 社会貢献活動</p> <p>1. 「県高等学校教育研究会英語部英語スピーチコンテスト審査員」</p>

2. 「学長杯英語スピーチコンテスト審査員」

3. 「学長杯英語スピーチコンテスト審査員」

○ 学外教育

1. [非常勤講師]「身近な話題で英語を使ってみよう」

令和元年度における大学運営・機構運營業務

○ 機構の業務等

1. 全学教育機構予算・施設委員

2. PE 英語学修支援委員長

3. PE TOEIC 企画副委員長

4. GEP 部会員

5. Practical English 部会員

6. PE Advanced English コーディネーター

③ 令和元年度における教員の活動

共通教育部門	氏名 大津 理香
--------	----------

職名	講師
学位	Master of Science in TESOL[California State University, Fullerton] 文芸学修士[共立女子大学]
学歴	共立女子大学大学院文芸学研究科 1998/03/31 修了 California State University, Fullerton, Humanities and Social Sciences 2011/05/27 修了
職歴	常磐大学国際学部助教 2013/04/01-2015/03/31 いわき明星大学(現医療創生大学)教養学部准教授 2015/04/01-2018/03/31
所属学会	日本英語教育英学会 The Japan Association for Language Teaching (JALT) Teachers of Speakers of Other Languages (TESOL)
受賞歴	なし
学内兼務	なし
専門分野	英語教育
教育研究概要	<p>・英語学習者の「やる気」「学習時間」「学びやすい環境」を大事に授業内外で教育支援を実施。</p> <p>・英語学習者の英語力向上のために、1)授業中の活動を教師だけではなく学生同士で評価することの効果、2)英語再履修者の削減、3)学生による英語絵本の読み聞かせが学生自身に与える影響、4)短期語学留学の効果、についての研究をこれまで実施。</p> <p>(キーワード) 動機付け、ピアレビュー、英語絵本、短期語学留学</p>

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Integrated English II A【前期】, Advanced English III C【前期】, Advanced English II A【前期】, Advanced English III A【前期】, Advanced English III C【前期】, Advanced English III C【前期】「農学部開講」, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】, Advanced English II B【後期】
------	---

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]菊池 武・小西 康文・小林 邦彦・上田 敦子・大森 真・館 深雪・大山 廉・大津 理香・鈴木 聡子「2018 年度 TOEIC スコアと授業アンケートの関係」, 茨城大学 全学教育機構論集, 第3, 127-137. (2020 年 03 月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]大津理香「英語絵本の読み聞かせ活動—読み聞かせる側である大学生への影響—」, 茨城大学 全学教育機構論集, 第 3, 79-93. (2020 年 03 月)</p>
--

共通教育部門	氏名 大山 廉
--------	---------

職名	助教
学位	文学博士[東北学院大学大学院] 文学修士[東北学院大学大学院]
学歴	東北学院大学大学院 文学研究科 英語英文学専攻 応用言語学・英語教育学専修 博士後期課程 [2020年3月修了] 東北学院大学大学院 文学研究科 英語英文学専攻 応用言語学・英語教育学専修 博士前期課程 [2015年3月修了] 東北学院大学 文学部 英文学科[2013年3月卒業]
職歴	茨城大学 全学教育機構 助教(2019年4月～) 東北学院大学(2018年4月～2019年3月) 山形県立新庄北高等学校(2015年4月～2016年3月) 東北学院榴ヶ岡高等学校(2014年4月～2019年3月)
所属学会	日本第二言語習得学会 大学英語教育学会 Asia TEFL 東北英語教育学会 全国英語教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)教室における第二言語習得, 英語教育学

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)Integrated English II A【前期】, Advanced English II A【前期】, Advanced English III A【前期】, Integrated English II B【後期】, Advanced English II B【後期】
------	--

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [学位論文(博士)単著【査読あり・筆頭著者】]Ren Oyama“<i>The Effects of Affective Processing on Second Language Development</i>”, Ph.D. Dissertation, . (2020年03月)</p>

令和元年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会業務</p> <p>1. 入試関係業務</p>

③ 令和元年度における教員の活動

学生支援部門	氏名 小磯 重隆
--------	----------

職名	准教授
学位	修士(法学)[筑波大学]
学歴	金沢大学 社会環境科学研究科 博士後期課程[2004年10月中退]
職歴	JUKI株式会社 工業用マシン事業部縫製能率研究所(1987.4～1999.3) 雇用促進事業団(独立行政法人雇用・能力開発機構)(1999.4～2004.10) 国立大学法人弘前大学 教育推進機構キャリアセンター准教授(2004.11～2016.6) 国立大学法人茨城大学 全学教育機構キャリアセンター准教授(2016.7～現在)
所属学会	日本キャリア教育学会 日本産業教育学会 日本労働法学会 日本キャリアデザイン学会
受賞歴	日本学術振興会「科研費」審査委員 表彰(2016年)
学内兼務	
専門分野	社会法学(労働法) 社会学(職業能力開発) 教育社会学(キャリア教育)
教育研究概要	<p>【教育研究活動状況】</p> <p>キャリア教育を中心に労働法及びアクティブラーニングの観点から若年者雇用問題を研究している。「多人数アクティブラーニング実践モデルの研究」では、固定式の机とイスで実践可能なキャリア教育を研究している。「若年者の職場定着に関する研究～職業教育を通じて」では、若者が「仕事を楽しめる能力」を身に付ける研究を行った。他に、地方創生(COCプラス)、男女共同参画推進の活動も行っている。「大学に求められるキャリア教育とは何か」弘前大学 21世紀教育センター、「地方創生と学生の地元就職」弘前大学教養教育実践開発センター、「女性の活躍に関する調査研究」青森県委託共同調査分析など。</p> <p>(キーワード)キャリア教育、労働法、職業能力開発、男女共同参画、地方創生</p>

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)ライフデザイン【前期】社会と私(P1)/ライフデザイン【前期】社会と私(P2), ライフデザイン【前期】社会と私(A), ライフデザイン【前期】社会と私, ライフデザイン【1Q】社会と私(T1), 公共社会【1Q】インターンシップ実習Ⅰ, 公共社会【1Q】インターンシップ実習Ⅱ, ライフデザイン【2Q】社会と私(T2), ライフデザイン【2Q】社会と私(T3), 公共社会【2Q】仕事を考える, 公共社会【2Q】インターンシップ実習Ⅰ, 公共社会【3Q】みんなの”イバダイ学”, 公共社会【3Q】キャリアデザイン論, 公共社会【3Q】インターンシップ実習Ⅰ, 公共社会【4Q】仕事を考える, 公共社会【4Q】インターンシップ実習Ⅰ
学生支援・国際交流	[国際化・連携]水戸『留学生のための就職研究会』～WORK IN JAPAN!～(2019年11月～2020年2月)
支援・特記事項	就職ガイダンス「就職ガイダンス<就活準備編>」(2020年06月) 就職ガイダンス「インターンシップの参加を考える」(2020年06月)

<p>就職ガイダンス「インターンシップ&就職ガイダンス I」(2020年06月)</p> <p>合同企業説明会(事前ガイダンス)(2020年02月)</p> <p>国家・地方行政機関等業務説明会(2020年02月)</p> <p>就職ガイダンス「企業研究・求人票の見方」(2020年01月)</p> <p>就職ガイダンス「内定者による就活体験報告」(2019年12月)</p> <p>キャリアディスカバリーセミナー(2019年10月)</p> <p>キャリアカウンセラー会議(2019年09月)</p> <p>ガイダンス「インターンシップ特別事前研修」(2019年07月)</p> <p>インターンシップマッチングフェア(2019年06月)</p> <p>就職ガイダンス「インターンシップ・企業の探し方」(2019年05月)</p> <p>特別就活講座(iOPラボ)(2019年02月)</p>

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「学生の就職活動と新卒紹介業の問題」, 茨城大学全学教育機構論集大学教育研究大3号(茨城大学全学教育機構), 第3, 47-56. (2020年03月)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 社会貢献活動

- 1[セミナー・ワークショップ:パネリスト,司会,運営参加・支援].「いばらきCOCプラス事業報告フォーラム」, 茨城COCプラス推進協議会(大学生,企業,行政機関)
- 2[セミナー・ワークショップ:司会,運営参加・支援].「水戸市男女平等参画センター運営委員会(委員長)」, (社会人・一般,企業,市民団体,行政機関)
- 3[セミナー・ワークショップ:講師].「教職員のための「キャリア相談員養成研修(青森)」講師」, 青森県若年者就職支援センター(ジョブカフェあおもり)(教育関係者)
- 6.「COC+教育プログラム開発委員会(インターンシップWGリーダー)」, (茨城大学社会連携センター)

○ 学外委員等

- 1.「水戸市市民協働部男女平等参画課」水戸市男女平等参画センター運営委員会(委員)

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 教務情報ポータルシステム専門委員会
2. 社会連携センター部門会議
3. COC 統括委員会委員
4. 茨城大学地元就職推進委員会
5. 点検評価委員会
6. 人事委員会

○ 機構の業務等

1. 令和1年度茨城大学オープンキャンパス
2. 茨城大学地元就職推進委員会委員
3. 教務情報ポータルシステム専門委員会委員
4. 社会連携センター地域連携部門委員
5. 全学教育機構学生支援部門会議
6. iOP ラボ「つまみぐインターンシップ」
7. 一般財団法人 日本国際協力センターと茨城大学との連携協定 連携協定
8. 茨城大学 COC 総括機構 COC 地域共生委員
9. 社会連携センター地域連携部門委員

学生支援部門	氏名 矢嶋 敬紘
--------	----------

職名	講師
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学歴	早稲田大学 人間科学部[卒業] 茨城大学 教育学研究科 修士課程[修了]
職歴	
所属学会	日本心理臨床学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	社会福祉学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード) 障害者福祉、臨床心理学、学生相談、パーソナリティ、カウンセリング

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)健康の科学【1Q】心の健康科学, 人間とコミュニケーション【1Q】障害者理解と共生, 人間とコミュニケーション【2Q】障害者理解と共生, 人間とコミュニケーション【集中】障害者理解と共生, 公共社会【1Q】多様性社会に関わるボランティア活動, 公共社会【2Q】多様性社会に関わるボランティア活動, 公共社会【3Q】多様性社会に関わるボランティア活動, 公共社会【4Q】多様性社会に関わるボランティア活動
------	---

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [(MISC)研究論文共著]大森真,矢嶋敬紘,上田敦子,佐々木友美,館深雪「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み(1): パフォーマンス評価におけるルーブリックの開発・導入と学習者の意識への影響」,茨城大学全学教育機構論集大学教育研究, 3, 95-107. (2020年03月)</p>
--

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

<p>○ 学外委員等</p> <p>1. 茨城県公認心理師協会,理事,産業領域委員会委員長</p> <p>2. いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム,障害学生支援委員会副委員長</p> <p>○ 地域協力活動</p> <p>1. 教員免許状更新講習, 講師</p>

令和元年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会業務

1. 全学教育機構学生支援部門会議, 委員
2. 全学教育機構バリアフリー推進会議, 障害学生修学支援員
3. 全学教育機構学生生活支援部会, 学生相談員

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. ダイバーシティ推進室「メンタリングの基本的な心構え」講師

○ 機構の業務等

1. 障害等のある学生支援業務
2. 学生相談業務
3. バリアフリー推進室(水戸キャンパス、日立キャンパス、阿見キャンパス)運營業務
4. なんでも相談室(水戸キャンパス、日立キャンパス、阿見キャンパス)運營業務
5. ピアサポーター育成・運營業務

国際教育部門	氏名 安 龍洙
--------	---------

職名	教授
学位	博士(文学)[東北大学]
学歴	東北大学大学院 文学研究科 博士後期課程 言語科学専攻[2000年修了]
職歴	茨城大学留学生センター助教授(2003年4月～2008年3月) 茨城大学留学生センター教授(2008年4月～2017年3月) 茨城大学全学教育機構教授(2017年4月～)
所属学会	国立大学留学生指導研究協議会 アジア・ヨーロッパ未来学会 日本語教育学会 第二言語習得研究会 韓国日本近代学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本社会における異文化理解の変容に関する事例研究 日本社会における外国人(①ニューカマー②オールドカマー③その他)と日本人(①外国人との接触頻度の高い日本人②外国人との接触頻度の低い日本人③その他)の異文化理解のあり方及びその変容について PAC分析法を用いて認知的・情意的な観点から探っている。 (キーワード) 異文化理解、PAC分析法、外国人と日本人の相互理解、質的研究

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)学術日本語Ⅰ【前期】学術日本語Ⅰ(総合), 日本語教育概論【前期】, 思想・文学【1Q】日本語を考える(日本語の諸相), 日本語教授法演習【後期】, 思想・文学【4Q】日本語を考える(日本語の諸相), 多文化共生【通年】短期海外研修Ⅰ(韓国), 多文化共生【通年】短期海外研修Ⅱ(韓国) (日本語研修コース)レベル5 総合【前期】, 日本事情【前期】, 日本体験授業【前期】, レベル5 日本研究【後期】, 日本事情【後期】, 日本体験授業【後期】
------	---

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [その他・共著]共著「非漢字圏アジア留学生のための日本語教育と理工系専門教育の高大接続を目指す協働研究」, 金沢大学国際機構. (2020年03月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]安龍洙「欧米出身留学生の日本のサブカルチャー観について」, グローバル教育研究, 3, 1-12. (2020年・発行月不明)</p>
--

3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]青木香代子・安龍洙「日本人交換留学生の韓国に対するイメージとその変化」, グローバル教育研究, 3, 13-28. (2020年・発行月不明)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]高柳有希・安龍洙「日本人韓国留学生は韓国のサブカルチャーを通して韓国をどう捉えているか」, グローバル教育研究, 3, 135-144. (2020年・発行月不明)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]松田勇一・安龍洙「日本人交換留学生は海外への交換留学をどのようにとらえているか」, グローバル教育研究, 3, 81-98. (2020年・発行月不明)
6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]石鍋浩・安龍洙・高柳有希「韓国に長期滞在する日本人による韓国観の態度構造:PAC分析を用いた研究」, グローバル教育研究, 3, 53-65. (2020年・発行月不明)
7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]安龍洙「日本社会における韓国出身交換留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 2, 1-12. (2019年・発行月不明)
8. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]高柳有希・安龍洙「日本人学生の韓国留学観に関する一考察」, グローバル教育研究, 2, 91-102. (2019年・発行月不明)
9. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]青木香代子・安龍洙「中国人短期留学生の日本留学観に関する一考察」, グローバル教育研究, 2, 13-28. (2019年・発行月不明)
10. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]松田勇一・安龍洙「中国出身留学生は日本のサブカルチャーを通して日本をどう捉えているか」, グローバル教育研究, 2, 73-86. (2019年・発行月不明)
11. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]石鍋浩・安龍洙「東南アジア出身留学生は日本のサブカルチャーを通して日本をどう捉えているか」, グローバル教育研究, 2, 59-72. (2019年・発行月不明)
12. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著【査読あり】]太田亨,安龍洙,菊池和徳,村岡貴子「韓国人文系大学生と日韓理工系学生の「論理的文章」に関する意識の比較分析」, 第21回専門日本語教育学会研究討議会誌, 17, 34-35. (2019年・発行月不明)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. [科学研究費助成事業]基盤研究(C)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究」(研究代表者)(2017年度～2020年度)
2. [科学研究費助成事業]基盤研究(B)「非漢字圏アジア留学生のための日本語教育と理工系専門教育の高大接続を目指す協働研究」(研究分担者)(2016年度～2019年度)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学外委員等

1. 「アジア・ヨーロッパ未来学会」理事
2. 「国立大学留学生指導研究協議会」代表幹事

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 人事委員会

国際教育部門	氏名 八若 壽美子
--------	-----------

職名	教授
学位	修士(人文科学)[お茶の水女子大学]
学歴	お茶の水女子大学 人間文化研究科 比較文化学 博士後期課程[2003年単位取得満期退学] お茶の水女子大学人文科学研究科修士課程日本語文化専攻修了(1997年)
職歴	茨城大学 全学教育機構 教授(2017年4月～) 茨城大学留学生センター教授(2006年4月～2017年3月) 茨城大学留学生センター助教授(2001年9月～2006年3月) 立命館アジア太平洋大学専任講師(2000年9月～2001年8月)
所属学会	日本語教育学会 ヨーロッパ日本語教師会 日本語文化学会
受賞歴	平成14年度茨城大学教育研究開発センター推奨授業表彰「総合科目社会国際系科目「日本事情Ⅰ」」(2003年03月)
学内兼務	
専門分野	日本語教育
教育研究概要	1.教育概要: 外国語(第二言語)としての日本語教育 2.研究概要: 日本語学習者に対する作文指導に関する研究 自律的言語学習に関する研究 (キーワード)外国語(第二言語)としての日本語教育、日本語学習者に対する作文指導、自律的言語学習、言語学習環境

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)学術日本語ⅡB【前期】学術日本語ⅡB(アカデミック・ライティング), 多文化社会と日本語教育【前期】, 5学部混合地域PBLⅣ【前期】, 思想・文学【1Q】日本語を考える(日本語の諸相), 思想・文学【4Q】日本語を考える(日本語の諸相) (専門科目)日本語教授法演習(海外)【前期】 (大学院科目)日本語表現法Ⅰ (日本語研修コース)レベル3総合【前期】, レベル4総合【前期】
------	---

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]八若壽美子「再来日した元交換留学生のライフストーリー — 支援される側から支援する側へ—」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究 (茨城大学全学教育機構), 3, 29-43. (2020年02月)</p>
--

③ 令和元年度における教員の活動

○ 競争的資金 共同・受託研究

→平成 29 年～令和 2 年度科学研究費補助金基盤研究(C)(課題番号 17K02839 研究代表者: 八若壽美子)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学外教育

1. [その他]「インドネシア教育大学日本語教育学科 1 年生向け会話授業」, 2 時間, 30 名出席, インドネシア教育大学

※2019 年 9 月～2020 年 2 月 サバティカル期間 於:トウラキットバンディット大学(タイ)、インドネシア教育大学、名古屋大学・日本法教育研究センター(ベトナム)

国際教育部門	氏名 池田 庸子
--------	----------

職名	教授
学位	修士[ペンシルバニア州立大学]
学歴	ペンシルバニア州立大学 比較文学科 比較文学 修士課程[1993年修了]
職歴	茨城大学留学生センター教授(2010年4月～) 茨城大学留学生センター助教授(2002年4月～2010年3月) 関西外国語大学助教授(1998年4月～2002年3月) 関西外国語大学専任講師(1993年9月～1998年3月) ペンシルバニア州立大学 TA(1991年9月～1993年8月) イースタンニューメキシコ大学 TA(1990年9月～1991年5月)
所属学会	全米日本語教育学会 日本語教育学会 日本語教育方法研究会 留学生教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本語教育、教材開発、文学教育、多読教育、留学生に対する質的研究 (キーワード)日本語教育、教材開発、多読

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)日本語教授法Ⅱ【前期】、学術日本語ⅡA【後期】学術日本語ⅡA(応用)、日本語教授法演習【後期】、思想・文学【3Q】日本語を考える(日本語文法)、多文化共生【通年】短期海外研修Ⅰ(スペイン)、多文化共生【通年】短期海外研修Ⅱ(スペイン) (日本語研修コース)レベル1 総合【前期】、レベル3 漢字【前期】、多読で学ぶ日本語【前期】、レベル1 総合【後期】、多読で学ぶ日本語【後期】
学生支援・国際交流 支援・特記事項	海外留学相談(2019年04月～2020年03月)

令和元年度における研究活動

○ 著書・論文等	1. [教科書・共著]坂野永理、池田庸子、大野裕、品川恭子、渡嘉敷恭子「初級日本語 げんきⅠ第3版」、ジャパンタイムズ出版。(2020年02月) 2. [教科書・共著]坂野永理、池田庸子、大野裕、品川恭子、渡嘉敷恭子「初級日本語 げんきⅠワークブック第3版」、ジャパンタイムズ出版。(2020年02月)
----------	--

③ 令和元年度における教員の活動

3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり・責任著者】]シャカル佳子・池田庸子・瀬尾匡輝「日米間のEメール交換とズームミーティングによる授業の活性化」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), **3**, 115-121. (2020年02月)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]池田庸子「日本語多読授業における学習者の自己評価」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究(茨城大学全学教育機構), **3**, 45-52. (2020年02月)
5. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]坂野永理、池田庸子、坂井美恵子「初級学習者用多読教材の開発」, 第23回AJEヨーロッパ日本語教育シンポジウム 報告・発表論文集(ヨーロッパ日本語教育学会), **24**, 633-635. (2019年08月)

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・共同] 坂野永理、池田庸子、坂井美恵子「初級学習者用多読教材の開発」[第23回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム・ヨーロッパ日本語教育学会・ベオグラード大学](2019年8月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. [科学研究費助成事業]基盤研究(c)「19K00729「日本語読教育における多読教材の分析と学習者及び教師の意識変容に関する研究」(研究代表者)(2019年度～2021年度)
2. 「元留学生の留学評価と日本語学習に関する実証的研究」(研究分担者)(2017年度～2019年度)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 学外教育

1. [その他]「全米日本語教師会(AATJ) ランチセミナー」

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 全学教育機構学生支援部門 学生支援協力員
2. ダイバーシティ推進委員会

○ 機構の業務等

1. 日本語教育プログラム部会長
2. ダイバーシティ推進委員会委員
3. 茨城大学留学生同窓会
4. 日本語研修コース継続生ガイダンス
5. 海外留学説明会
6. グローバル教育センター主任

国際教育部門		氏名 瀬尾 匡輝
職名	准教授	
学位	博士(言語学)[上智大学] 修士(第二言語研究)[ハワイ大学マノア校] 学士(宗教学)[ハワイ大学マノア校] 学士(第二言語としての英語教授法)[ハワイパシフィック大学] 副専攻(社会科学)[ハワイパシフィック大学]	
学歴	上智大学 外国語学研究科 言語学専攻 博士課程[2014年3月単位取得満期退学] ハワイ大学マノア校 第二言語研究学科 修士課程[2008年12月修了] ハワイ大学マノア校 人文学部 宗教学科[2006年8月卒業] ハワイパシフィック大学 国際学部[2005年5月卒業]	
職歴	茨城大学 全学教育機構国際教育部門 准教授(2019年4月～) 茨城大学 全学教育機構国際教育部門 講師(2017年4月～2019年3月) 茨城大学 留学生センター 講師(2015年4月～2017年3月) 香港理工大学 人文学院中文及雙語学系 専任講師(2012年1月～2015年3月) 香港大学專業進修学院 助理講師(2009年9月～2011年12月) 香港大学專業進修学院 非常勤講師(2009年1月～2009年8月) ハワイパシフィック大学 非常勤講師(2008年1月～2009年1月) コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 教務主任(2007年～2008年) コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 夏季日本語教師(2005年～2006年)	
所属学会	海外日本語教育学会 大学日本語教員養成課程研究協議会 日本教師教育学会 日本教育工学会 国立大学留学生指導研究協議会 開発教育協会 国際理解教育学会 異文化間教育学会 日本質 的心理学会 日本教育社会学会 言語文化教育研究学会 日本語教育方法研究会 カナダ日本語教 育振興会 アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会 全国語学教育学会 香港日本語教育研究会 日本語教育学会	
受賞歴	The Patricia A. Williams Prize in Education(2005年)	
学内兼務	農学部 附属国際フィールド農学センター 協力教員	
専門分野	日本語教育 外国語教育 教育社会学	
教育研究概要	言語教育(特に日本語教育)、教育社会学を専門としている。これまで海外を拠点に研究を行ってきた ため、海外における日本語教育のあり方についての批判的な検討を学習者と教師の視点から試みて きた。学習者の視点 学習者の動機や動機減退要因を調査していくなかで、余暇活動と消費としての 日本語学習の存在を明らかにした。その上で、学習者の視点に立った実践研究を行っている。教師 の視点 海外で働く教師達にインタビューを行った結果から、教師達の対立や孤立感を浮き彫りにし	

③ 令和元年度における教員の活動

	た。そして、海外で働く教師のためのオンラインコミュニティを立ち上げ、企画・運営した結果を実践研究という形で報告している。
	(キーワード)外国語/第二言語としての日本語教育(JSL/JFL)、批判的応用言語学、第二言語習得研究のJSL/JFLへの応用(e.g. タスク中心教授法、内容中心教授法)、グローバリゼーションと言語教育、実践研究、質的研究、批判的教育

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)5 学部混合地域 PBL IV【前期】, 人間とコミュニケーション Japanese Pop Culture A【1Q】, 人間とコミュニケーション Japanese Pop Culture B【2Q】, 日本語教授法 I【後期】, 公共社会みんなの”イバダイ学”【3Q】, Studies in Particular Fields【3Q】, Studies in Contemporary Japan【4Q】, 多文化共生 短期海外研修 I(ブルネイ)【通年】, 多文化共生 短期海外研修 II(ブルネイ)【通年】(日本語研修コース)レベル4(総合)【前期】, レベル4(総合)【後期】, (阿見キャンパス日本語補習授業)日本語入門【前期】, 日本語初級 I【前期】, 日本語初級 II【前期】, 日本語中級【前期】, 短期集中サバイバル日本語【後期】, 日本語入門【後期】, 日本語初級 I【後期】, 日本語初級 II【後期】日本語中級【後期】
学生支援・国際交流支援・特記事項	[国際交流支援]ベトナムの日本語教育を知るインターンシップ引率(2019年12月) [国際交流支援]ウィスコンシン州立大学の学生とのオンライン授業交流(連携協定あり)(2019年11月~12月) [国際交流支援]ハイフォン大学の学生とのオンライン授業交流(連携協定なし)(2019年10月~11月) [国際交流支援]ブルネイ短期海外研修への学生派遣(連携協定あり)(2019年8月~9月) [その他特記]日本学生支援機構 平成31年度海外留学支援制度(協定派遣)学生交流創成タイプ(タイプB)「東南アジアの大学生との相互理解を目指した海外派遣プログラム」(2019年8月~2019年9月) [その他特記]茨城大学 令和元年度教育改革推進経費「タンデム学習による海外の協定校の学生との交流事業」(2019年8月~2020年2月) [その他特記]九州大学 博士論文調査委員(2020年3月~7月)

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [調査報告書・編者]瀬尾匡輝「ブルネイってどんなところ?—ブルネイ・ダルサラーム大学短期研修報告(編者)」, 茨城大学グローバル教育センター. (2020年3月)</p> <p>2. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.12 「人をつなぐ、地域を本業にする、自分のスタイルを作る」土井佳彦さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版). (2020年3月)</p> <p>3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり・責任著者】]シャカル佳子・池田庸子・瀬尾匡輝「日米間のEメール交換とズームミーティングによる授業の活性化」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究, 3, 115-122.</p>
--

(2020年2月)

4. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.11 「教室の外で関わる、人と出会う、居場所を作る」加藤駿さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2020年2月)
5. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.10 「声を集める、仕組みを整える、専門性を伝える」増田麻美子さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2020年1月)
6. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.9 「挑戦し、学びつづけ、広げる、極める」石川いづみさん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年12月)
7. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.8 自分で考える、伏線を張る、日本語教師で一本の道を通す 小西達也さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年10月)
8. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.7 「分野を・地域を・人を。つながり、つなげる」杉村佳彦さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年09月)
9. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.6 「自分の可能性をひろげ、自分にしかできないことを見つける、そして楽しむ」李暁燕さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年7月)
10. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.5 『『人生どないしょ』から、『これで食っていく』へ』松島調さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年6月)
11. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.4 「学習者のニーズに寄り添う、日本語教育の常識にとらわれない」小山暁子さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年5月)
12. [(MISC)その他記事共著【依頼/招待・筆頭著者】]瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師の履歴書 vol.3 「マジョリティに働きかける、立場を超えて対話する」有田佳代子さん」, 日本語教育いどばた(アスク出版)。(2019年4月)

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・単独] 瀬尾匡輝「言語教育サービスの商品化を考える」[言語文化教育研究 国際研究集会](2019年12月8日)
2. [口頭発表(一般)・単独] 瀬尾匡輝「言語教育サービスの商品化に対する教師の意識—香港とベトナムの教師の比較から」[日本語教育学会 2019年度秋季大会・日本語教育学会秋季大会](2019年11月24日)
3. [ポスター発表・単独] Masaki Seo "Intercultural Co-Learning: Solving a Problem"[JALT Study Abroad SIG Online Conference 2020](2019年11月2日)
4. [口頭発表(一般)・単独] 瀬尾匡輝「言語教育サービスの商品化—教育産業以外の企業が設置した日本語教室で働く教師の経験から」[日本教育社会学会第71回大会](2019年9月13日)
5. [口頭発表(一般)・共同] 瀬尾匡輝・本間咲耶「遠隔による日本語教育実習—日本とブルネイ・ダルサラーム国間の実践から」[CASTEL/J(日本語教育支援システム研究会)2019](2019年8月11日)
6. [口頭発表(一般)・単独] "We do not pander to our customers": Commodification of Japanese language educational service in Vietnam"[The 4th Forum on Sociology of Education at Beijing Normal University](2019年6月28日)
7. [口頭発表(一般)・単独] 瀬尾匡輝「事前・事後学習としてのレポート執筆—ブルネイでの海外短期研修の実践から」[異文化間教育学会第40回大会](2019年6月8日)
8. [口頭発表(一般)・単独] 瀬尾匡輝「ベトナムにおける日本語教育の商品化—学校経営者及びプログラム主任への

インタビュー調査から」[日本語教育学会 2019 年度春季大会](2019 年 5 月 26 日)

9. [口頭発表(一般)・単独] Masaki Seo "Publishing Students' Report as an E-Book"[JALT PanSIG 2019 Conference](2019 年 5 月 18 日)

10. [口頭発表(一般)・単独] Masaki Seo "Commodification of Language Education in Hong Kong: How private language schools sell connection with others as a commodity"[Taiwan Association for Sociology of Education (TASE) 25th Annual Conference 2019](2019 年 5 月 4 日)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. [科学研究費助成事業]若手研究(B)「言語学習の「商品化」と「消費」の包括的な理解を目指した調査研究」(研究代表者)日本学術振興会日本学術振興会日本学術振興会(2017 年度～2019 年度)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 社会貢献活動

1. 「阿見町国際交流協会 ホームステイ委員会委員」

○ 学外委員等

1. 「日本語教育学会」国際連携委員会委員
2. 「全国語学教育学会 分野別研究部会 海外留学」企画委員長
3. 「全国語学教育学会 分野別研究部会 海外留学」広報委員長
4. 「言語文化教育研究学会」研究集会実行委員長
5. 「言語文化教育研究学会」理事

○ 学外教育

1. [その他]「茨城大学 iOP ラボ「香港は、いま。—現地の最新レポートと対話のワークショップ」」, 2 時間, 10 名出席,
2. [公開講座]「外国人に日本語を教えてみよう!」, 12 時間, 20 名出席, 茨城大学公開講座
3. [出前授業]「世界と日本を考える」, 2 時間, 30 名出席, 茨城県立水海道第一高等学校
4. [その他]「2019 年度 茨城大学教員免許状更新講習 「外国にルーツを持つ児童・生徒に対する日本語教育・学習支援」 於筑西」, 6 時間, 25 名出席, 茨城大学
5. [公開講座]「ちがいをたのしむ—多文化共生へのはじめの一歩」, 5 時間, 20 名出席, 2019 年度茨城大学公開講座 (高校生徒向け)
6. [出前授業]「外国語として日本語を教えてみよう!」, 2 時間, 40 名出席, 福島県立磐城桜が丘高等学校
7. [出前授業]「外国語として日本語を教えてみよう!」, 2 時間, 40 名出席, 茨城県立勝田高等学校
8. [公開講座]「茨城大学で学ぶ留学生と考える「日本」」, 2 時間, 茨城大学公開講座
9. [その他]「2019 年度 茨城大学教員免許状更新講習 「外国にルーツを持つ児童・生徒に対する日本語教育・学習支援」 於水戸」, 6 時間, 25 名出席, 茨城大学

令和元年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会業務

1. 日本語教育プログラム部会

2.. グローバル英語教育プログラム部会

○ 機構の業務等

→阿見・日立日本語補習授業 コーディネーター, 阿見キャンパス留学交流室チューターの支援, グローバル教育センターホームページ及び Facebook ページの管理, 阿見町国際交流協会との連携事業の促進, 阿見キャンパスの留学生家族の生活支援

③ 令和元年度における教員の活動

国際教育部門	氏名 青木 香代子
--------	-----------

職名	講師
学位	教育学博士[サンフランシスコ大学大学院]
学歴	サンフランシスコ大学大学院 教育学部 国際・多文化教育 博士課程[2008年5月修了]
職歴	中央大学 文学部事務室 嘱託職員(2013年2月～2017年3月) 国際教養大学(2012年6月～2012年7月) 桑港学園日本語学校(2008年9月～2012年3月)
所属学会	日本教育社会学会 日本国際理解教育学会 日本移民学会 日本オーラル・ヒストリー学会 Comparative and International Education Society 異文化間教育学会
受賞歴	なし
学内兼務	
専門分野	教育学
教育研究概要	多文化教育、異文化間教育学、批判的教育学、社会正義のための教育などを中心に、近年は日本人性や人種差別をはじめとする抑圧と特権性に焦点を当てた社会正義のための教育実践開発を研究しています。 (キーワード)多文化教育 異文化間教育 国際理解教育 批判的教育学

令和元年度における教育活動

担当科目	(教養科目)多文化社会と日本語教育【前期】、5学部混合地域 PBL IV【前期】、学術日本語 I【後期】学術日本語 I (応用)、日本語教授法演習【後期】、グローバル・スタディーズ【3Q】 Diversity and Social Issues in Japan A、多文化共生【3Q】多文化共生、グローバル・スタディーズ【4Q】Diversity and Social Issues in Japan B、多文化共生【4Q】多文化共生、多文化共生【通年】短期海外研修 I (サンフランシスコボランティア)、多文化共生【通年】短期海外研修 II (サンフランシスコボランティア) (日本語研修コース)レベル 1 総合【前期】、レベル 3 総合【前期】、日本事情【前期】、レベル 1 総合【後期】
------	--

令和元年度における研究活動

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・共編者]「社会科における多文化教育—多様性・社会正義・公正を学ぶ(第1章「多文化教育再考—社会正義の実現に向けて—」、コラム2・4、あとがき)」、明石書店、14-31, 58, 128, 286-287。(2019年06月)</p> <p>2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり・筆頭著者】]「日本人交換留学生の韓国に対するイメージとその変化」、茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究、3, 13-28。(2020年02月)</p>
--

3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]「人種」「人種差別」を学び直す—大学における社会正義のための教育実践にむけて—, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 3, 145-159. (2020年02月)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・単独]「移動する日台ダブルのアイデンティティとことば—大学生の日台ダブルのライフストーリーから—」[日本移民学会 第29回年次大会・日本移民学会・天理大学袖之内キャンパス](2019年6月)

2. [口頭発表(一般)・単独]「大学における社会的正義のための教育にむけた試み—特権性と抑圧の理解の授業実践を通して—」[異文化間教育学会 第40回大会・異文化間教育学会・明治大学](2019年6月)

○ 競争的資金 共同・受託研究

1. 基盤研究(C)(一般)課題番号19K02470「社会正義のための多文化教育のプログラム開発と実践」(研究代表者)(2019年度～2020年度)

2. 基盤研究(C)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究」(研究分担者)(2017年度～2020年度)

令和元年度における社会的活動、地域貢献など

○ 社会貢献活動

1. 「南丹市国際交流協会」

○ 学外委員等

1. 「異文化間教育学会」若手交流委員会

○ 学外教育

1. [公開講座]「ちがいをたのしむ—多文化共生へのはじめの一步」, 2019年度茨城大学公開講座(高校生徒向け)

令和元年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会業務

1. 予算・施設委員会

2. 点検評価委員会